



鈴鹿市議会議員（日本共産党）
 発行 2018年8月1日 271号
 森川ヤスエの市政だより
 鈴鹿市矢橋 3-10-34 電話：384-3740, fax:384-2907
 URL: <http://blog.ymorikawa.net/>
 生活相談など、お気軽にご連絡ください。



福島のみま：原発事故の幕引きを許さない講演に来ていただいた若い参議院議員の岩淵友さんと一緒に。息子の伴侶が福島出身で親戚には津波で被災された方もおられるので親近感がわいてお願いして写真を撮りました。

やっぱり国保は大幅黒字

七月二七日に国民健康保険運営協議会が開かれて平成二九年度国民健康保険事業特別会計収支決算状況予測の報告がありました。その資料を見ると大幅な黒字決算です。値上げ後の二年間の決算の黒字額は二八年度が三億二千万円、今年度が八億四千六百万円合計

2017年度（H29）鈴鹿市国民健康保険特別会計決算に見る基金保有状況表	
基金の内訳	単位：千円
当初残高	425,687
基金運用収入	322,139
基金積立額（2016（H28）年度決算剰余金処分による）	150,000
年度末基金残高	576,009
2017年度決算剰余金処分による増加見込み	400,000
29年度決算後の基金合計予測額	976,009

一億六千七百万円になります。

値上げしすぎです

基金積み立て額も別表のように約一〇億円になろうとしています。三重県からの借入金残高三億七千六百万円を差し引いても六億円の基金が残ることになります。これは二年前に

一七%も大幅な値上げを行った結果です。

日本共産党市議団は国保会計の構造的欠陥が市民生活に及ぼす問題も明らかにしながら値上げに反対をしてきましたが、今回の決算予測はやはり値上げはすべきではなかったと言える結果が出ています。

子どもの保険料は無料に

日本共産党市議団は、子どもにかかる保険料は無料にと提案してきましたが、決算状況や基金の様子を見ると財政的にも可能であるといえるのではないかと思います。引き続き求めて行きたいと思えます。

「福島がいま：原発事故の幕引きを許さない」

岩淵友^{いわぶちとも} 日本共産党参

議院議員のお話をきいてきました。

福島県出身の岩淵さんは、自己紹介で、三・一一直後日本共産党が被災県に立ち上げた復興救援ボランティアセンター福島県内地域の責任者として、県外からのボランティアを延べ人数一万九千人以上受け入れ、実務を担い、被災住民宅の震災後の片付け作業をはじめ復興住宅へ転居されたみなさんの暮らしを応援

する活動を地道に行ってきた事、二年前の選挙で参議院議員に当選した事などを話された。

原発事故七年後の福島を映像で紹介しながら報告がなされた。ビデオに映る景色は草ぼうぼうで人が足を踏み入れられない現実が生々しく伝わる。また除染したごみの袋の山。**福島原発事故に幕引きを狙っている安倍政権**

発表でも避難生活者が数万単位でいる実態の中で家賃補助などを打ち切ろうとしているなど。安倍総理は被害者

や被害地域にまともに向き合うことなく、福島原発事故に幕引きをしようとしていることが実態を通じてのお話でわかりやすかったです。

原発廃炉はオール福島の願い

原発廃炉決議をあげるなど県民の世論とあきらめない運動が大きいことを報告された。

安倍内閣は福島原発事故の教訓を引き出すことなく、新たに国のエネルギー政策に原発を重要なベースロード電源と位置付けた計画を閣議決定していることも報告された。

原発の怖さは廃炉処理の見通しを持たないところにある

話を聞いている会場からも「幕引きは許さない」の思いは一緒だと発言があった。

最近福島第二原発の廃炉を東電が表明したがそれを動かしたのは、福島県議会が震災前には原発推進派だった議員も含めて四回も第二

中電で働いていた方

の発言「火力発電の廃炉は一年で終わった。しかし原発の廃炉作業の終わりを誰も予測できない、まして原発事故後の廃炉は何が起るかさえ予測できない。」の発言があったがそれを聞いて、原発は絶対にこれ以上作らせてはいけなと改めて思いました。

安倍総理だけでなく安倍政権を支える自民党・公明党・その補完勢力は福島県民の思いに向き合う姿勢がないということに悔しく悲しいと思う。ふるさと

沖縄と同じだと感じた。そして早くこの政権を終わらせたいと強く思いました。

沖縄と福島県民の思い新基地建設認めない・原発ゼロを！の声を多くのみなさんと一緒に届けたいです。

あまりにも多すぎる「安倍内閣の異常」赤信号みんなで渡れば怖くないと言っているように怖さを感じる

西日本の豪雨災害の夜に酒宴を開いて二次会まで行っていたという。国民が災害で苦しんでいるときにです。

国会審議においても野

党が災害を優先せよと求めているのに、災害を担当する石井国交大臣（公明党）もウソとごまかしのカジノ法や働き方改悪法、自民党に有利な選挙制度の審議を優先させた。熱中症が続出する異常気象の中で、避難所生活の困難さを思うと現地からの要望に応えられない制度設計を国会は集中すべきなのに。「生産性」という言葉でLGBT差別を行う杉田議員を戒めるどころか、二階幹事長は「政治的立場はもとよりいろん

な人生観もありましようし」とかばう、森友、加計の疑惑はひた隠し、そのためには嘘の答弁、公文書改ざん、隠蔽、データーねつ造もためらいなく行う。

市民と野党の共同を強く大きく

いつしか憲法を守るべき者が憲法を踏みこじって民意を蹴散らして大手を振って我が物顔で闊歩している。このままでは国が壊れる。国民の力で止めなければと強く思います。「安倍内閣」倒す市民と野党の共同を強く大きくひろげましょう。

市消防職員も被災地支援で活躍

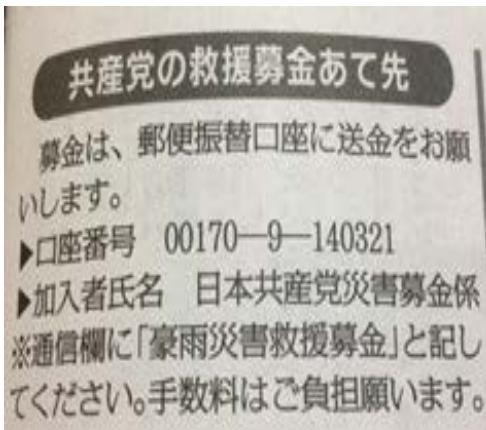
七月の西日本の豪雨は大変な被害をもたらした。大規模な土砂災害が発生した広島県の要請で総務省が緊急消防援助隊を派遣し、三重県の派遣隊に鈴鹿市も一次、二次と消防職員を派遣しました。熱中症が多発するときの活動であったことを思うと、大変だったことでしょうか。現地では行方不明者の捜索を行ったそうです。無事任務を終えて戻られたとの報告を受けました。本当にお疲れさまでした。

戻ると今度は地元の台風への対応と、消防職員の仕事の大変さに頭がさがります。心から感謝です。ところでみなさんのご家庭は台風の影響は大丈夫でしたか？大きな被害がないことを願っています。

暑さが続きます、熱中症でお亡くなりになるかたも全国では増えています。ご注意ください。さつて暑さを乗り切ってください。願っています。

日本共産党は西日本豪雨被害地域への救援募金を行っています。みなさまのご協力をお願いいたします。

第一次分として二千五百万円を岡山県、広島県、愛媛県の一七市七町へ届け、行政側からの国への要望を聞き取り国へ働きかけています。まだまだ現地は厳しい状況で支援も必要です。ご協力お願いします。



2018年 森川ヤスエ 7月の あゆみ	
1	民商総会出席、会議
2	記者会見、他
3	地域福祉委員会出席
4	訪問活動、他
5	ホンダ野球選手団の壮行会、
6	議会報告会打ち合わせ、JFEは辺野古のケーソン作るなコンサート参加
7	種子法学習会参加、他
8	鈴鹿市母親大会参加、会議、
9	6・9行動他
10	会議、調査活動、ニュース配布活動
11	CTL、ビデオ視聴、ニュース配布活動
12	訪問活動、ニュース配布活動
13	訪問活動、ニュース配布活動、
14	学習会、ニュース配布活動
15	消防職員救援活動出発見送り、映画カメジロー鑑賞、訪問活動
16	3000万署名行動、入党おすすめに参加
17	訪問活動、他
18	第2次派遣消防職員救援活動出発見送り、ニュース配布活動、
19	毎月一度のスタンディング、
20	鈴鹿市老連大会参加、他
21	会議、
22	映画「ザオスプレイ」鑑賞、会議ニュース配布活動
23	議会報告会のため神戸高校訪問、
24	訪問活動他
25	県議員団学習会
26	県議員団学習会
27	国民健康保険運営協議会出席
28	原発事故を募引きさせない講演会参加、ニュース配布活動
29	ニュース配布活動、他
30	ニュース配布活動、生活相談活動
31	ニュース配布活動、他